

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室・施設部
大項目	9 教育研究等環境 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	9.0.1 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。【担当部局：学長室】	
要素	学生の学習および教員による教育研究環境整備に関する方針の明確化 校地・校舎・施設・設備に係る大学の計画	
小項目	9.0.2 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。	
要素	校地・校舎等の整備状況とキャンパス・アメニティの形成【担当部局：学長室】 校地・校舎・施設・設備の維持・管理、安全・衛生の確保【担当部局：施設部】	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 全キャンパスの整備充実計画を策定する委員会を設置し、統合的かつ継続的な整備を行う。	→各キャンパスの整備・充実計画の進捗状況	B	B	B	/	/
2. 情報機器の持込利用が可能スペースを増やし、ユビキタスな環境を拡大する。	→情報機器が利用できる建物の増減	C	C	C	/	/
3. 個人研究室の整備・充実を図り、研究の活性化を支援する。	→建物別の個人研究室平均面積	C	C	C	/	/
4. 学生・大学院学生・教員間の学習・研究、交流・親睦・発信の機能を持つ学生共同学習スペースを確保する。	→キャンパス別の学生共同学習スペースの設置数、総面積数、設備の充実度(物品販売などサービスの種類)	C	C	B	/	/
5. 環境側面とその影響を常に把握し、各キャンパスの省資源・省エネを行う。	→キャンパス別の電力消費量、光熱水費、CO2発生値	C	C	C	/	/
6. バリアフリーな施設・設備を充実する。	→障がい者用トイレ、点字ブロック、教室内ループなどの設置数	C	C	C	/	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

## 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	副学長の下に、「共同学習スペース設置推進委員会」を全学組織として設置し、「西宮上ヶ原キャンパス北西部整備充実計画基本計画」と同基本設計を答申した。2012年度のH号館（仮称）建設に向けて順調に進んでいる。ただ、2010年度に、「本委員会では全キャンパスの整備計画を策定する役は担わない」との結論となり、その件については進捗していない。
目標2	中期的な計画に基づき、情報機器が利用可能なスペース拡大に取り組んでいるが、十分な状況とまでは至っていない。
目標3	新規に建設される建物については24㎡の面積が確保されている。第1教授研究館本館の新築により状況は改善されつつあるが、既存の個人研究室の研究環境改善には至っていない。さらに、教員の増員に対応した個人研究室の確保はまったく手付かずの状態であり、早晚個人研究室は飽和する状況にある。
☆ 目標4	神戸三田キャンパス「コモンズ」の建設が決まり、さらに西宮上ヶ原キャンパスH号館の基本設計が策定され、学生の共同学習スペース設置が具体化しつつある。
目標5	中期的な計画に基づき、省資源・省エネ化は手洗いの自動水洗化、照明の自動感知化等が実施されているが、十分な状況とまでは至っていない。
目標6	中期的な計画に基づき、施設のユニバーサル化を実施している。今後も計画に基づいて推進していく。
備考	